

令和7年度 総務省の政策評価に関する有識者会議（第1回）

議事概要

- 1 日時：令和7年6月11日（水）15時00分～17時00分
- 2 場所：総務省第一特別会議室（中央合同庁舎第2号館）
- 3 出席者：
 - （1）総務省の政策評価に関する有識者会議構成員
（座長）西出 順郎 明治大学専門職大学院ガバナンス研究科専任教授
出雲 明子 明治大学専門職大学院ガバナンス研究科専任教授
重川 純子 埼玉大学教育学部教授
新藤 健太 日本社会事業大学社会福祉学部准教授
田淵 雪子 行政経営コンサルタント
山本 清 東京大学名誉教授
 - （2）総務省
令和7年度評価対象政策の担当課長等
北川大臣官房政策立案総括審議官、渡邊大臣官房政策評価広報課長等
- 4 議事概要
各政策の担当課長等から評価書素案について説明した後、意見交換を行った。
有識者からの主な御意見のポイントは以下のとおり。
 - 効果発現経路（ロジックモデル）における指標について、取組が十分であったか否かを判断するための目標値・基準が必要。アウトカムの達成状況についても測定・検証することが重要。
 - 効果発現経路（ロジックモデル）において、アウトプットとアウトカムの関係や、短期アウトカムと長期アウトカムの関係といったロジックの流れを更に整理してほしい。
 - 政策評価書は、国民への説明責任の一環として公表されるものであり、可能な限り簡潔に分かりやすく、かつ必要な情報を適切に掲載すべき。

（文責：総務省大臣官房政策評価広報課）